



けせらの国際交流

この度ご縁を得てドイツにお住いの日本人の方が主宰される会で、日本の介護について当社の統括所長 阿部に講演をして欲しい、とのお話をいただきました。

せっかくの機会ですので講演後にいただいたお手紙を紹介させていただきます。



昨日はお忙しい折、1時間も私どものために時間を割いてくださりまして、ありがとうございました。現場の方のご尽力で、どれだけの方々が安心して生活していらっしゃるのか、わかります。

行政の理解、近隣住民の理解、更には、家族の理解等、本来のお仕事以外のことでもご努力が必要だと言うと、地域に溶け込んだ活動が大事だと思いました。

ドイツにあるトルコ人専用の介護付き高齢者シェアハウスも、トルコのお祝い(祭り)は近隣の方々を招待し、相互理解を深める努力をされているようでした。

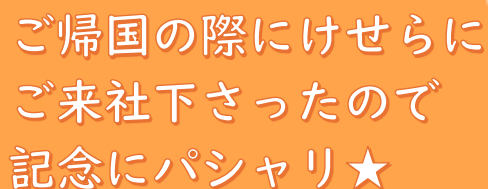
知らないことへの恐怖から反発や敵対心が湧き、心ない言動を取られることは、本当に残念なことです。文化や習慣の違い、ヨーロッパでは宗教の違いで排斥運動がおこることもあります。

幸い日本人は、比較的好意的に受け取られますが、それは、ハイデルベルクがアカデミックな国際都市だからかもしれません。

終の住処をどこにするか、まだ、決めていませんが、将来を見据えながらも、今を精一杯生きたいと思えます。

けせらの皆様が、今後とも地域の皆様の心の支えとして活躍されることを祈念いたします。

ライン・ネッカー友の会



ご帰国の際にけせらにご来社下さったので
記念にパシヤリ★

